

平成26年度学校経営計画表

1 学校の現状

学校番号	20	学校名	県立水戸農業高等学校				課程	全日制			校長名	外ノ岡 政典				
教頭名	西連寺 陽治			柴山 修二			川内 孝雄			事務室長名	和田 肇					
教職員数	教諭	59	養護教諭	2	常勤講師	12	非常勤講師	9	実習教諭・実習指導員	27	事務職員	7	技術職員等	21	計	142
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	農業科	27	10	30	9	34	1			91	20	3				
	畜産科	20	20	9	31	16	18			45	69	3				
	園芸科	12	28	15	22	13	15			40	65	3				
	生活科学科	2	38	2	37	1	25			5	100	3				
	農業土木科	40	0	39	0	36	0			115	0	3				
	食品化学科	16	24	22	18	15	25			53	67	3				
農業経済科	21	19	26	13	29	9			76	41	3					

2 目指す学校像

・知・徳・体を身に付けた社会に有為な人材を育成する学校
 ・生徒一人一人の進路希望の実現を支援する学校
 ・魅力ある農業教育の国際交流等を通して、将来の農業経営者・関連産業技術者を育成する学校
 ・体験学習・国語・英語・数学・理科・社会・保健体育・芸術・体育・音楽・情報・総合的な学習の時間等を通じて、基礎学力を磨くことのできる学校
 ・地域社会との関係機関・団体・住民等と連携するとともに、それらに開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習活動	・将来に対し明確な目標を持つ生徒と持たない生徒の学習意欲の差が著しい。	・個に志じたわかりやすい授業を心がけ、授業に積極的に参加する意識を育成する。
進路指導	・生徒の多様な進路希望に対応できる指導体制が確立されていない。 ・望ましい職業観・勤労観が身に付いていない生徒が見られる。 ・農業教育の特性を生かした進路指導が十分に展開できていない。	・各指導体制の連絡を密にし、1年次から体系的な進路指導の確立を図る。 ・LHR等あらゆる機会を利用して、進路情報を適切に提供する。 ・進路講話やインターンシップ等により職業体験活動の参加数を高め、望ましい勤労観・職業観の育成に努める。
生徒指導	・社会マナー遵守意識が不十分であり、校則を守れない生徒がみられる。	・保護者とともに連携を密にし、基本的生活習慣の育成を促すことと、社会のルールやマナーを守ることを理解させる。
特別活動	・部活動の加入率が低い。 ・いろいろな学校行事に対して生徒の参加意欲の低下がみられる。	・生徒会活動や農業クラブ活動を活発にし、魅力ある学校行事を実施する。 ・部活動紹介や見学会等を実施し部活動加入率を高める。
農業教育	・学ぶことや実習の意義を十分理解できず、農業への興味・関心の低い生徒がみられる。 ・農業クラブ活動、体験学習への参加意欲がやや乏しい。	・体験学習の充実と農業クラブの各種発表会、競技会への参加人数を増やし、活性化に努める。 ・資格取得を奨励し、学習意欲の向上を図る。 ・就農講話等を通して職業観・勤労観を養う。

